2005年度
慶應義塾大学CSI事業成果報告

2006/04/28

慶應義塾大学メディアセンター

２００６年度委託事業の目標

- 目的：リポジトリ業務の図書館定常業務への組織化
- 合意形成
  - 学内でメディアセンターがリポジトリを進める合意形成
- 組織形成
  - 学会/研究所・出版会・図書館の連携
  - メディアセンター内の推進体制の確立
- 電子出版体制の確立
  - 学内出版物の電子出版体制の整備（慶應義塾大学出版会との連携）
- メタデータ
  - 目録部門とのメタデータ作成基準の検討
- ＰＤＦ仕様の作成と費用算出
  - ＰＤＦ評価と作成仕様
- コンテンツ収集
  - 学会誌・紀要・研究所への説明とコンテンツの収集
  - 貴重書・特殊コレクションのデジタルデータの収集と再整理
- システム
  - ＤＳｐａｃｅとＸｏｏＮＩｐｓの評価
  - リポジトリシステムの公開

成果１　慶應義塾大学出版会との共同体制

- 図書館の定常業務へリポジトリ事業を組織化するため、学会との著作権交渉や電子出版への対応を出版会と連携して行う。
- カレント分の電子出版を優先して進め、遡及は電子出版の目処が立った学会を優先して対応する。
- 紙とＰＤＦを出版する費用をこれまでの紙だけの出版費用を超えないことで、電子出版を推進する。
- 著作権処理のための学会投稿規約の改定は、出版会が学会と交渉する。

成果２　コンテンツ収集方針

- ＮＩＩの紀要デジタル化事業で進んでいる学会誌と交渉しリポジトリ掲載を依頼
  - ＣＩＮＩＩは掲載が遅いので、学会サイトへの掲載を検討中であった。
- 新しい紀要で創刊号から電子出版が可能な紀要
  - 新しく創刊された紀要はデジタル出版を前提で考えられていたので、リポジトリ掲載を依頼。
  - 大学出版会では印刷費用を同額で対応
- 利用が多い研究所のグレードキュメントに掲載を依頼
  - デジタル化は遡及として図書館で対応
- 既にデジタルイジングが行われているが未整理で未公開なデジタル資料
  - 以前にデジタル化して整理されていないデータを整理して掲載
- 貴重で利用の多い資料で公開が望まれている資料

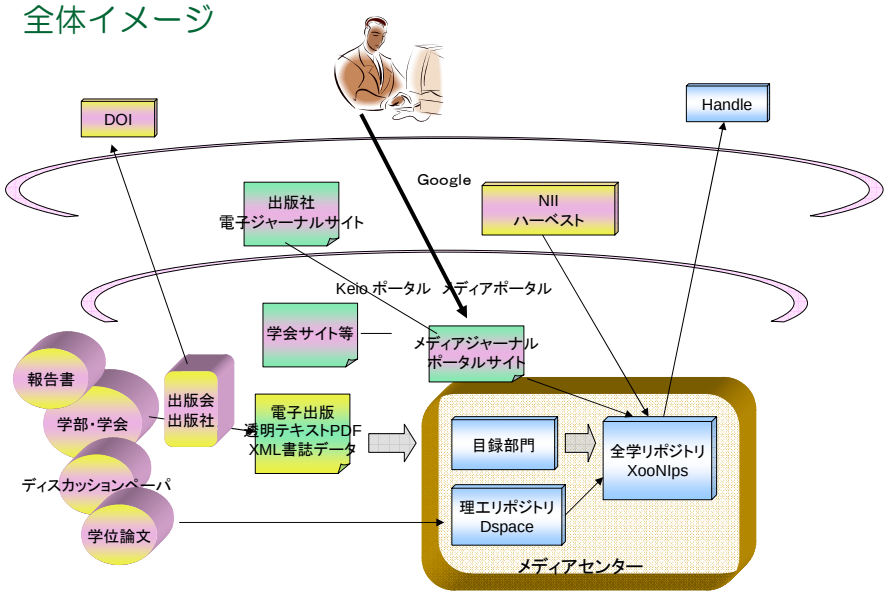
成果３　リポジトリシステム
Dspace と XooNIpsのの評価と構築

- リポジトリシステム　DSpace XooNIpsの評価
- 理化学研究所とのXooNIps共同開発モデルの作成
  - sourceforge.jpを利用したXooNIps Library Moduleサイトの開発
  - http://sourceforge.jp/projects/xoonips-library/
- 学内リポジトリシステムモデルの構築（学内分散型リポジトリ）と実験
- XooNIps（全学リポジトリ）　DSpace(理工リポジトリ)の構築
  - 慶應義塾大学全学リポジトリ
    - KOARA（KeiO Academic Resource Archive)(仮称)
    - http://www.koara.lib.keio.ac.jp
  - 慶應義塾大学理工学部リポジトリ
    - 理工学メディアセンター学術情報リポジトリ
    - http://131.113.30.71:8080/dspace/

DSpaceとXooNIpsの機能比較

	DSpace	XooNIps
機関リポジトリとしての基本機能	**検索、登録、査読、OAI-PMH等の機能を網羅**	**検索、登録、査読、OAI-PMH等の機能を網羅**
検索機能	1次資料の全文検索、メタデータでの検索に対応	1次資料の全文検索、メタデータでの検索に対応
登録機能	基本はDC形式での登録に対応	内部的にMODSに対応した形式に対応(Library Module)
査読機能	複数回の審査を行うことができる	公開・非公開の2段階
その他	MIT　HPで開発	理化学研究所ニューロインフォマティックで開発 http://xoonips.sourceforge.jp/ XooPSのデータベース層を拡張

全体イメージ



成果４　慶應義塾大学CSI活動報告会開催

日時:　2006年3月28日（火）14:00-17:00
於:　慶應義塾大学三田キャンパス新図書館5階研修室
主催:　慶應義塾大学メディアセンター本部（CSI担当）
共催:　「慶應義塾大学機関レポジトリ構築のための総合的研究」
研究代表者: 文学部教授 倉田 敬子 (平成17年度慶應義塾学事振興資金)
「貴重な資料のデジタルアーカイブの構築手法とメタデータの標準化についての実践的研究」
研究代表者: 文学部教授 細野公男 (平成17年度慶應義塾学事振興資金)

[プログラム]
メディアセンター所長挨拶　　杉山 伸也
■「XooNIps開発の経緯とシステム紹介
理化学研究所脳科学総合研究センターニューロインフォマティックス技術開発チーム　山地 一禎 様
■「海外出版社からの学会誌発行について」
財団法人国際医学情報センター 学会事務室　田子 智香子 様
■「大学発の学術情報の流通」
慶應義塾大学出版会　安井 元規 様
■「リポジトリ構築事業(CSI委託事業) 慶應義塾大学における取り組み」
慶應義塾大学メディアセンター本部　入江 伸
■「機関リポジトリ 三田メディアセンターの取り組み 2005」
慶應義塾大学三田メディアセンター　松本 和子
■「図書館におけるXooNIpsの適用事例(Dspaceとの比較)」
慶應義塾大学メディアセンター本部　五十嵐 健一
■「機関リポジトリのメタデータ」
慶應義塾大学メディアセンター本部　酒見 佳世
アカデミックコンテンツとしてビデオ・資料等をリポジトリへ掲載し公開予定